

一学期 終業式 式辞

全校生徒890名、開校42年目の西中学校の一学期が、今日で終わります。

4月平成三十一年度が始まり、10連休を挟んで、5月新しい時代「令和」となりました。「炎の如く 令和バージョン」に込められた西中生の思いに、新しい時代に向かう意気込みを強く感じます。

この一学期の皆さんの活躍は素晴らしい。数々の行事で光り輝いている皆さんの姿が、今でも目に焼きついています。三年生の修学旅行。あの世界の中心で愛を叫ぶに匹敵する「東京駅のまん前で好調で一す」を叫ぶ学校なんてそうそうないと思います。

しかし、学校生活は順風ばかりではありません。不安になることや、心配になること、嫌なこと、いたずらされたこと、いやがらせしたこと、良くないことをしたこと。それで心痛めたこともありました。失敗したことも、思い通りにならなかったことも・・

なかなか、素直に言えない気持ちもありました。涙 流したことも。

でも、みなさんは、涙の中に 「未来への希望」をなくさなかった。希望は命です。

「命」を大切にしてくれた。人は命ある限り、いつか立ち上がることができます。「心 折れても」命あれば、また、「駆け抜けること」ができます。

『命』は交換ができないから、なくしちゃダメだ・・・・。

今が「最悪」と思うならば、「悲しみの底」と思えるならば、これから先は上しかありません。

「炎の如く」していこう！

「笑え 自分の 今を 信じて」

この一学期の大きな流れを作ってくれた３年生には、あらためて、感謝したいです。西中の最高学年として１．２年生の手本となり、あらゆる学校生活の牽引役をしてくださいました。

明日以降も大会やコンクールがある人たちは、さらなる高みを目指し、頑張ってくれることを期待しています。

２年生は、野外活動で見せた学年としてのすばらしい団結力、あふれるパワーで、３年生に安心してもらえるように、活躍してください。

１年生は入学してこの３か月で、とてもたくましくなったと思います。ぜひとも、先輩たちが続いてください。

さて、いよいよ明日から４０日間にわたる夏休みが始まります。

「楽」したいことは数多くあることでしょう。「だらだら」「ぐでぐで」したいもん。でも、それは、「サ

マー」にならないよ。

「やりたいこと」が、いっぱいできる「夏休み」です。「楽」じゃなくて、「楽しい」を見つけていこう。

この40日間も、『楽しい』をいっぱい見つけて、『命』に栄養を与えてください。生きていればこそその「夏休み」です。

でもね、よく命が大切、命が大切って言うけど、本当はちがうんだよね。

「あなた」が大切なんだよ。「YOU」です。

そして、9月2日の始業式には、心も体も成長した皆さんに会えることを楽しみに、待っています。

これで、「今に生きる」西中生への一学期終業式の式辞といたします。

令和元年七月十九日

日進西中学校長 平山 雅之